

私の理解する鉄筋コンクリート

はじめに

1963年4月、大学院に進学して以来、鉄筋コンクリートに関する著作や論文を読み、自らも研究に従事してきた。鉄筋コンクリートについての必要な知識を得たのは、Phil M. Ferguson 著の教科書「Reinforced Concrete Fundamentals」からである。1996年8月から1年半、University of Texas 滞在中に、その内容を講義できるよう熟読した結果である。その間、Prof. Ferguson の指導による博士論文10数編をすべて読破することができた。これによって、彼の研究スタイルを良く理解でき、以後私の研究スタイルは、恩師國分正胤先生と Prof. Ferguson の良いところを合わせたものとなった。

1979年4月、1年間の University of Leeds 滞在から帰国し、山崎 淳博士の指導を得た前川宏一と卒業論文指導教官として出会い、桜井達美氏から有限要素解析の手ほどきを得た彼と共に、鉄筋コンクリートを統一的に理解する研究を開始した。この研究を続けるうちに徐々に理解が深まり、その考えを前川宏一との共著「鉄筋コンクリートの非線形解析と構成則」として1991年5月、技報堂出版から出版した。その本はすでに絶版になってから久しく、手に入れることは困難である。また、その後、私の理解も幾分か進んだ。

公務から解放されて、有り余る時間を用いて、鉄筋コンクリートに関する私の理解を再整理することとした。幸いにも、書き終えた個所から順次ここに掲載することを、許していただいた。これを見る機会がある方々に少しでも役に立てればこの上ない喜びである。

2018年7月 岡村 甫 記